

# 大事協だより

大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第66号  
2019年10月25日発行

第2回大島地区事務職員研修会お疲れさまでした。6月に行われました総会・懇親会も皆様のおかげで無事終了することができました。ありがとうございました。

2学期も折り返し地点となり、年末調整事務に追われる日々が始まります。健康に留意して頑張ってください。

執行部より



10月23日に令和元年度第2回理事会が開催されました。今年度の活動経過報告、県事協評議員会、総代会報告、県費事務改善検討委員会報告、及び今後の活動計画等について協議しました。各理事より報告があると思いますが、県事協事業2点・大事協2点掲載しておきます。

## 県事協

### 1. 起点表の整備

前回(2015年度)実施後、学校の統廃合や新設等により、実態に合わない箇所等の修正・削除・挿入を各地区(市町村)毎に実施。

2次集約11月1日 3次集約2月6日

### 2. 会員アンケートの実施

前回(2014年度)実施から5年が経過し、学校や学校事務職員を取り巻く環境も急速に変化してきていることを踏まえ、県事協事業の評価や今後の要望などを各年別に各地区毎で集約。11月配布予定。

## 大事協

### 1. 第2回地区事務研アンケート

例年行っている地区事務研に関するアンケートへの協力をお願いします。

### 2. 第3回理事会の日程

令和2年2月14日(金) 13:00~

※理事会に合わせて、教育事務所主催の「市町村連絡会(仮称)」も14:30から開催されます。

12月発行の大事協だより67号の原稿提出市町村は、天城町・奄美市東部・住用ブロックとなっております。新規採用者の記事は知名町・瀬戸内町の先生方へお願いをさせていただきます。編集担当の喜界町(理事：喜界小 福山先生)へ原稿締切を11月27日に設定してあります。支援室の紹介のみでなく趣味・地域の紹介など内容はお任せいたします。また個人で実践していること・趣味・お役立ち情報・地域行事の案内等もお待ちしております。ご協力よろしくお願いいたします。



## 《各地区からのお便り》

今回の原稿は、①奄美市笠利ブロック ②瀬戸内町からいただきました。また、新規採用2年目の声も掲載しています。笠利ブロックからは支援室だよりもいただきましたので、ぜひご覧ください。



### ①笠利地区学校事務支援室

笠利町は、美しい海岸線と広い農地を持つ奄美大島の最北部に位置する地域です。奄美の玄関口である奄美空港があり、近隣には人気の観光スポットも多く、比較的平地が多いのでドライブにもおすすめです。

笠利地区学校事務支援室は、7名の事務職員で活動しています。地区内に小学校8校、中学校2校の計10校があり3名が兼務校を持っています。

支援室は毎月2~3回実施しており、認定関係や旅費・給与点検を中心に行っています。

比較的経験の浅い職員も多く、初事例の案件等はみんなで協議しながら進めており、和気あいあいとした雰囲気の中にも各自が真剣に取り組める研修の場にもなっていると思います。また、支援室だよりは年6回発行しており各学校の先生方にも好評です。

今年度は、統一した「事務引継書」の改訂に取り組んでいます。新規採用や期限付事務職員も多く、引継書の作成は各学校悩みの種との意見が多かったのがきっかけです。

育休や病休等で年度途中で事務職員が代わった場合にも統一した引継書があると近隣事務職員のサポートもスムーズに行えるのではないかと考えています。定例業務に追われて中々進んでいないのが現状ですが、少しずつ取り組んでいこうと思います。





## ②瀬戸内町事務職員会

こんにちは。瀬戸内町事務職員会です。

昨年度末に2名の転出者を送り出し、今年度2名の新規採用者を迎え、昨年度と同じく8名構成となっております。初任校の者が半分を占め、若者が多くフレッシュなメンバー構成となっておりますが、毎回楽しく活動させていただいています。

瀬戸内町は奄美大島と加計呂麻島、請島、与路島にまたがっており、各島に学校が存在し、大島地区でも離島の離島を抱える唯一の市町村であります。会を開くにも、船泊等の利用が必要となり、時間的にも旅費的にも厳しい一面があります。

また、13ある学校のうち8校は小中併設校であり、そのためほとんどの事務職員が兼務校を抱えているという特殊な事情もあります。ちなみに事務支援室は一室のため、メンバーは皆、21校分の辞令を受けています。履歴書記入が大変です。

事務支援室は基本月2回、午前中に開催し、そのうちの1回は午後から事務職員研修会を開催しています。手当認定の相互確認・相互審査を中心に活動しています。

また、合同自主検査も行っており、本島側と加計呂麻島側の2チームに分かれ、年度始めを除く、年3回実施しているところです。

事務職員研修会では、若手事務職員の支援を中心に活動しつつ、業務全般に渡る研修を行っています。

この一年、皆で切磋琢磨し、より良い仕事が出来ればと思っております。

奄美でも特に豊かな自然に恵まれ、一年中風光明媚な瀬戸内町に、皆様も是非足を運び、楽しませてみてはいかがでしょうか。



発行に当たり編集・原稿提出してくださった先生方ありがとうございました

## 新規採用者の声



奄美市立赤木名小学校  
小倉 みな美

昨年度新規採用として赤木名小学校に赴任いたしました、小倉みな美と申します。赴任してから早くも1年が経ちました。振り返ってみると、学校のこと、事務職員としての仕事のこと何ともわからない状態で、不安いっぱい私の、先輩事務職員の方々が忙しい中、学校や兼務校まで足を運んでくださり、分からないところは親切丁寧に教えてくださいました。1年経ち4月を迎え、昨年のことを思い出しながら仕事を進めるたび、どれほど支援が大変でありたいものであったのかを実感しています。また、支援室では毎回新採支援の時間を取ってくださり、質問しやすい環境を作ってくださいました。本当に感謝しています。2年目になっても相変わらず勘違いをしたり、初めての事務処理に四苦八苦したり、日々勉強させていただくことばかりですが、1年目で学んだことを活かし、事務職員としても一人の人間としても成長できればと思っています。最後に、日々の生活の中で児童や学校の様子を見て、事務職員の視点から学校を支えていけるよう努力していきたいです。今年度もよろしくお願いたします



瀬戸内町立伊子茂小中学校  
新原 理斗

この度新採2年目になります瀬戸内町立伊子茂小中学校勤務の新原理斗です。

1年目を思い返すと、赴任初日に机の上に積まれた書類を前に、何から手を付ければ良いのかかわからず、ただただ焦ってました。しかし、先輩職員の方々が忙しい中、学校まで足を運んで指導をしていただき、質問しようと連絡するとすぐに対応していただいたおかげで、1年を終えることができました。教員の方々もやさしく、本務校、兼務校とも意見を言える良い関係を築けていると思います。支援室では相談しやすい環境で色々なアドバイスや助言をもらうことができている。また、後に必要になる書類や事務処理をあらかじめ通知して下さるので、1年の計画が立てやすく、注意して取り組むことができました。2年目となり瀬戸内町支援会にも新たに新規採用職員が2名配属されました。私が1年目に感じたこと、学んだことを少しでも伝えたいとともに、まだまだ経験不足の私も一緒に学んでいきたいです。

これからも頑張っていきたいです。皆さんよろしくお願いたします。

